

令和5年度 学校評価アンケート 集計結果(まとめ)

(実施期間) 令和5年11月27日～令和5年12月22日

(対象者) 児童生徒代表者(児童6名・生徒6名)
保護者(小学部、中・高等部) 26名
学校関係者(療育福祉センター関係者) 16名
教職員 36名

(方 法) 無記名によるアンケート

学校評価アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。評価していただいた内容や、評価の結果に基づいて、今後の取組に生かしていきます。まとめをご覧ください。

アンケートは、お願いした多くの方がご回答くださり、貴重なご意見もたくさんいただきました。真摯に受け止めて、よりよい学校づくりに向けて取り組んでいきます。



高知若草特別支援学校子鹿園分校

令和5年度学校評価アンケート 集計結果まとめ

<評価方法>

(1)4段階評価をプラス評価(1、2)とマイナス評価(3、4)とし、判断できない(5)を加えて表示

(2)全体合計において、以下の割合に基づいて、評価を行います。

①マイナス評価10%未満 プラス評価90%以上➡(A) ②マイナス評価20%未満 ➡(B+)

③マイナス評価25%未満 ➡(B) ④マイナス評価25%以上 ➡(B-)

⑤教職員の判断できないが10%以上(教職員への取組の周知が不十分) ➡(*C)

⑥保護者の判断できないが10%以上(保護者への情報発信が不十分) ➡(*C)

(3)記述欄に書かれた意見や課題(抜粋)は、内容を要約したり表現を変えて記入しています。

(4)アンケート項目(※回答者によって質問項目がない項目もあります)

【学校生活全般】【教育課程の充実】【専門性の向上】【文化・芸術、スポーツの推進】【関係機関との連携】【働き方改革】

(5)評価の未記入や重複しての記入がある場合は、そのままカウントしています。

【学校生活全般】

① (保護者) お子さんは、学校生活を楽しんでいると思いますか。(問1) (学校関係者) お子さんは、学校生活を楽しくしていると思いますか。(問1) (教職員) あなたは、児童生徒が学校生活を楽しんでいると思いますか。(問1)												
評価	全体			保護者			関係者			教職員		
	プラス 評価	マイナス 評価	判断 できない	プラス 評価	マイ ナス 評価	判断 でき ない	プラス 評価	マイ ナス 評価	判断 でき ない	プラス 評価	マイ ナス 評価	判断 でき ない
A	94.0	0.0	6.0	100.0	0	0	87.5	0	12.5	94.4	0	5.6
記述欄に書かれたそう思う理由												
【保護者】 ・子供が学校で何をしたのか楽しそうに話してくれること、笑いながら振り付けをしたりする姿をよく見るからです。 ・普段からの学校生活を見て知る限り充実した生活を送れていると思います。 ・毎日「学校楽しい、お友達が大好き」といっています。 【関係者】 ・学校に行きたいと話す子どもが多い。(複数回答) ・元気に登校しているから。 ・学校で会ったエピソードを楽しく話をしてくれます。 ・先生との信頼関係が築けているから。 ・先生と楽しそうな会話や顔が見聞きできるから。(複数回答) ・楽しかった授業について話してくれる。 ・いい表情をしているから。 ・直接聞いたことがないので判断できない。 ・対象の子供がいない。												
まとめと 今後に向けて				・全体として多くのプラス評価をいただきました。引き続き、児童生徒が、「楽しい」「学校へ行きたい」と思える学校づくりに努めます。								

② (保護者) 学校は、必要な情報や教育活動を積極的に提供できていますか。(問2)

(教職員) あなたは(学校)は、保護者等に必要な情報を分かりやすく伝えていると思いますか。(問2)												
評価	全体			保護者			関係者			教職員		
A	プラス評価	マイナス評価	判断できない	プラス評価	マイナス評価	判断できない	プラス評価	マイナス評価	判断できない	プラス評価	マイナス評価	判断できない
	97.3	0.0	3.0	100.0	0	0				94.5	0	5.5
まとめと今後に向けて			・ すぐーるで、学級・学部通信やタイムラインにより学校生活の様子をお伝えする頻度が増えました。今後は学習のねらい等も含めた情報提供を進めたいと考えます。									

【教育課程の質の向上】

③ (保護者) 学校が行う教科等の指導では、お子さんの力を育てる授業ができていますか。(問3) (関係者) 学校は、学習面や日常生活面の指導で、児童生徒の実態や状況に合わせた指導支援ができていますか(問3) (教職員) あなた(学校)は、教育課程の改善につなげる視点を持って授業づくりや学習評価ができていますか。(問3)												
評価	全体			保護者			関係者			教職員		
B	プラス評価	マイナス評価	判断できない	プラス評価	マイナス評価	判断できない	プラス評価	マイナス評価	判断できない	プラス評価	マイナス評価	判断できない
	84.9	2.6	12.5	92.3	7.7	0	87.5	0	12.5	75	0	25

記述欄に書かれたそう思う理由	
【関係者】 ・ 個々の能力をアセスメントし、能力に応じた対応ができていると思う。 ・ 子どもの障害にあわせた対応をしている。 ・ 特にリハビリと連携して自立活動の取組をされているから。 ・ 子どもの実態や状況を把握したうえでの支援をしているのではないかと思います。 ・ 少人数の授業で一人一人に合った学習ができています。(複数回答) ・ 日常生活の介助が軽減しています。 ・ 情報共有をしてくれる。 ・ いろいろな工夫がされている。相談してくれる。	
まとめと今後に向けて	・ 保護者、教職員とも多くの方が肯定的意見でした。マイナス評価を真摯に受け止め、引き続き、指導にどのような工夫ができるのかを学校全体で話し合いながら課題を明確にし、今後も授業改善を進めていきます。

④ （保護者） 学校は、お子さんの学習のねらいや評価について、個別の指導計画や通知表、懇談などで十分な説明ができていますか。（問4） （教職員） あなた（学校）は、単元計画を作成し、3つの柱に基づいた目標達成に向けて授業改善を行い、観点別学習評価ができていますか。（問4）												
評価	全体			保護者			関係者			教職員		
	プラス評価	マイナス評価	判断できない	プラス評価	マイナス評価	判断できない	プラス評価	マイナス評価	判断できない	プラス評価	マイナス評価	判断できない
B	87.3	1.4	11.3	88.5	0	11.5				86.1	2.8	11.1
	まとめと今後に向けて		・プラス評価が8割を超えましたが、マイナス評価や判断できないとする評価があります。ねらいを明らかにした学習を意識することは日常的になってきましたが、しっかりと児童生徒や保護者の皆さんに伝えながら指導し、評価することについては今後も力を入れるところだと考えます。									

【専門性の向上】

⑤ （保護者） 学校は、お子さんの自立活動の指導について、指導目標・内容を分かりやすく説明できていますか。（問5） （教職員） あなた（学校）は、自立活動の指導目標・内容を明らかにし、より実態に即した指導支援が行えるように、クラス会やグループ等で検討や見直しをしましたか。（問5）												
評価	全体			保護者			関係者			教職員		
	プラス評価	マイナス評価	判断できない	プラス評価	マイナス評価	判断できない	プラス評価	マイナス評価	判断できない	プラス評価	マイナス評価	判断できない
A	93.4	1.9	4.7	92.4	3.8	3.8				94.4	0	5.6
	まとめと今後に向けて		・学習のねらいや評価について、肯定的な評価を多くいただきました。今後も、指導する教員同士、専門家の助言なども取り入れながらしっかりと説明ができるようにしていきます。									

⑥	（教職員）	あなた（学校）が行う教科等の指導において、自立活動の配慮を単元計画に記載する等し、て教科学習を後ろろする自立活動の指導内容を意識し、
---	-------	--

に配属する等して、担任や目録やスナックの自立活動の指導に励み
た指導ができましたか。（問6）

評価	教職員		
B	プラス 評価	マイナス 評価	判断 できない
	88.9	0.0	11.1
まとめと 今後に向けて			・ 自立活動の目標や指導内容についてはクラスをはじめとした指導者集団でしっかりと話し合って設定しています。今後も、自立活動についての学習や関係機関との連携を進めながら一人一人に適切な指導を進めていけるようにしたいです。

⑦ （関係者） 学校は、児童生徒について、療育福祉センターと情報共有した内容や受けた指導・助言を学校の指導で活かすことができますか。

評価	関係者		
A	プラス 評価	マイナス 評価	どちらとも いえない
	92.9	0.0	7.1
記述欄に書かれたそう思う理由			
【関係者】 ・ おおむねできていると思うが、経過が不明な時があるためそれを共有できればと思う。 ・ 療育福祉センターのリハビリに先生が同席し質問するなど積極性がある。学校の様子も伝えてくれる。（複数回答） ・ 先生のかかわりが個別性をもって対応していただいていると思います。 ・ 身体機能の維持、改善がみられるから。 ・ 生活の中で取り入れられている場面を見るから。 ・ 連絡会や支援会等に参加していただき情報共有ができていていると感じている。 ・ 子どもたちのリハビリに直結する声かけや「待つ」ことを上手にしてくださっている。 ・ 子どもたちの悩みに寄り添っていただき、気持ちが沈まないようにかかわっていただいている。 ・ 連携して治療やリハビリ、かかわり方だけでなく家族支援に関しても情報共有し支援に活かしています。			
まとめと 今後に向けて			・ 肯定的な意見を多くいただきました。学校だけでなく、関係機関の方々に相談できたり、指導していただくことで学校での指導支援に直結できることが多くあり、ありがたく感じています。今後もより連絡や相談をしながら一人一人の支援にあたること、教員の専門性の向上に向けて取り組みたいです。

⑧ （保護者） 学校は、児童生徒の学びやすさを保障するためにスイッチなどの機器やiPad、パソコン

⑩ (保護者) 学校は、児童生徒の作品の作品展への出展、芸術に触れる機会の設定など、文化・芸術活動を積極的に推進していると思いますか。(問7) (教職員) 学校は、児童生徒の社会参加を意識して、作品展への出品、音楽や芸術、文化に触れる機会の設定など、文化・芸術活動の振興に取り組むことができていると思いますか。(問9)												
評価	全体			保護者			関係者			教職員		
A	プラス評価	マイナス評価	判断できない	プラス評価	マイナス評価	判断できない	プラス評価	マイナス評価	判断できない	プラス評価	マイナス評価	判断できない
	92.9	1.9	5.2	88.5	3.8	7.7				97.3	0	2.7
記述欄に書かれたそう思う理由												
【教職員】 ・作品展では表彰も毎年されているし、四校合同作品展も行っているから。												
まとめと今後に向けて				・今年度は、マジックショーや影絵等、今年度は多様な本物の芸術に触れる機会を作ることができました。作品展等への参加は図画工作や美術の学習の成果を出品することで参加ができています。マイナス評価はについても真摯に受け止め、情報発信やさらなる機会提供に向けて取り組みます。								

⑪ 進 (保護者) 学校は体育の授業やスポーツ大会への取組などを通して、スポーツ活動を積極的に推進していると思いますか。(問8) (教職員) 学校は、児童生徒の社会参加を意識して、体育の授業や、スポーツ大会への取組などを通じて、スポーツ活動の振興に取り組むことができていると思いますか。(問10)												
評価	全体			保護者			関係者			教職員		
B+	プラス評価	マイナス評価	判断できない	プラス評価	マイナス評価	判断できない	プラス評価	マイナス評価	判断できない	プラス評価	マイナス評価	判断できない
	86.2	2.2	7.0	80.8	3.8	15.4				91.6	2.8	5.6
記述欄に書かれたそう思う理由												
【保護者】 ・今回運動会でリレーがなかったのが少し残念に思いました。いろいろな意見があると思いますが、お友達と競いながら頑張る姿がいつも見れていたのも、また次回はリレーを競技に入れてもらえたらと思います。												
まとめと今後に向けて				・障害者スポーツ大会等、学外で開催される大会への参加へのご協力ありがとうございました。校内でもスポーツや芸術に触れる機会を今後も継続するとともに保護者・関係者の皆さんにも情報提供できるようにします。また、運動会についてのご意見もいただきました。児童生徒の学習の成果を発表する場としてこういった競技が必要か等についても検討していきます。								

【働き方改革】

⑫ (教職員) あなたは、ワークライフバランスを意識した働き方を実践していますか。

評価	教職員			
B	プラス 評価	マイナス 評価	判断 できない	
	69.4	13.9	6.7	
	まとめと 今後に向けて		・昨年度の結果と比べると、プラス評価が減っています。また、マイナス評価と判断できないを合わせると20%を超えています。会議の精選や時間設定、空き時間の有効活用等については全教職員が意識して取り組んでいます。適切な役割分担や業務の偏りについては、まだまだ課題があります。引き続き、働き方改革を進め、働きがい、やりがいのある職場づくりに努めます。	

○自由記述欄

○これから特に学校に力を入れてほしいことは何ですか（問10） （保護者）

アンケートに書かれた意見や課題(抜粋)

- ・短時間でも構わないので懇談をしてほしい。
- ・職業家庭での授業の内容が個々に応じてなぜ違うのかを教えてほしい。適性があるものがあるかについても教えてほしい。
- ・今までどおりで構わない。
- ・発表会がなくなり数年経つが、発表週間のようなものを設けたい等の話が進んでいない。発表会で子どものできるようになったことを知ることが出来たり、保護者の交流ができたりしていたと思うがどうなっていますか。
- ・個性を伸ばし、いずれ出ていく社会に適応できる人間性を磨いてほしいです。
- ・就労にあたっての情報が知りたい。

○今後子鹿園分校が、特に力を入れなければならないと考えること（問9） （学校関係者）

アンケートに書かれた意見や課題(抜粋)

- ・保護者に対する進路相談。高等卒業後の不安を口にされる保護者が多い。
- ・保護者との意思疎通を図りつつ、個人にあった適切な対応が望まれると思います。
- ・経験の浅い先生の教育をしていただければと思います。

○これから特に学校が力を入れなければならないことは何だと考えますか（11）（教職員）

アンケートに書かれた意見や課題(抜粋)

（専門性の向上）

- ・ 課題に対し、専門性の高い方や外部専門家の方から明確な答えを聞き、実践すること。
- ・ 引き続き、指導力の向上を目指した研修を行い学んでいくことが大切だと思います。
- ・ 校内研修の精選。
- ・ 児童生徒の指導に有意義な実用的な研究(どんな教材をつくったかを共有するなど)

（指導内容、方法）

- ・ 学校卒業後を見越して、少しの支援で生徒のできることを増やすこと。
- ・ 児童生徒自身のねがいや要求はなんだろうと、教員間で話し合うこと。
- ・ スパイダー等の自立活動の際に必要な器具の充実。

（業務改善）

- ・ 教員一人一人の負担感を減らすための業務の分担、教員や支援員の確保
- ・ 業務の平準化、精選
- ・ 児童生徒の介助の際に、抱える機械などがあれば活用して、教員や支援員の身体を守る視点も必要
- ・ 教材研究、授業準備にかかる時間を増やしてほしい。
- ・ 教科指導に力を入れることができるように、各クラスに必要な教員数を検討し、持ち時間数の軽減を行う。
- ・ 今後も働き方の視点をもって、業務を検討していく必要があると思います。
- ・ それぞれが様々なしんどさを抱える中、個人の意見が反映される学校であってほしい。
- ・ 会議の精選

（学校組織）

- ・ 中学部、高等部の分割と教科の教員の配置
- ・ 教員間の情報共有等をなお一層強めていくこと。